

年賀状にまつわるエピソードを集めた「年賀状思い出大賞」が 第 15 回の受賞作品を発表。第 16 回の作品募集も開始！

若い世代にも共感を与える感動の年賀状エピソードが多数受賞。

株式会社グリーティングワークス（所在地：大阪市北区、代表取締役会長：徳丸 博之）は、挨拶状ドットコム（<https://nenga.aisatsujo.jp/>）にて、第 15 回「年賀状思い出大賞」で受賞した 12 作品を発表。合わせて第 16 回「年賀状思い出大賞」の募集を開始しました。若い世代にも共感を与える年賀状の力を描いたエピソードが大賞と日本郵便賞を受賞したほか、年賀状がきっかけで結ばれた男女のエピソードなどが多数受賞。第 16 回の募集も開始し、2024 年 4 月 30 日（火）まで受付しています。

■第 15 回「年賀状思い出大賞」受賞作品発表ページ URL: <https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/result.html>

■第 16 回「年賀状思い出大賞」作品募集ページ URL: <https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/>

■「年賀状思い出大賞」について

挨拶状ドットコムでは、年賀状にまつわる思い出を全国から募集し、審査、発表する「年賀状思い出大賞」を 15 年前より開始。日本郵便株式会社の後援のもと、年賀状の良さや、年賀状を通じて人と繋がる大切さを感じていただける取り組みとして毎年実施しています。

■中学の部活での出来事を描いた作品が大賞を受賞

第 15 回の受賞作品では、中学時代の部活で起きたエピソードを回想した感動の年賀状エピソードが大賞となったほか、遠く離れた男女を年賀状が結びつけた初々しいエピソードが準大賞に選ばれるなど、若い世代にも共感を与える作品が多数受賞しました。今回と過去の全受賞作品は受賞作品発表ページで読むことができます。



■第 16 回の募集もスタート！

第 15 回の応募件数は 863 作品となり、これまでの応募総数は 12,964 作品となりました。年賀状の良さを多くの方に知っていただけるよう第 16 回の募集も開始。応募締切は 2024 年 4 月 30 日（火）までとなっています。年始に大切な人と交わした素敵な年賀状エピソードの応募を受け付けています。



【第 16 回 年賀状思い出大賞 募集概要】

- ・募集ページ : <https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/>
- ・応募方法 : 応募フォーム・郵送・メール・FAX
- ・応募締切 : 2024 年 4 月 30 日（火）まで
- ・発表 : 2024 年 10 月上旬
- ・主催 : 挨拶状ドットコム
- ・後援 : 日本郵便株式会社

■第15回「年賀状思い出大賞」大賞作品について

中学生の頃、顧問の先生から思いがけずバレーボール部の部長に任命され、苦労の日々を送る筆者だったが、先生から届いた年賀状に励まされ大きな自信へとつながる。先生の真っ直ぐな信頼が、筆者の成長を促したこのエピソードが第15回の大賞に選ばれました。



大切にしている年賀状がある。それは三十年以上前に届いた恩師からの年賀状だ。

当時、私は中学三年生で、顧問の先生からバレーボール部の部長に任命されてしまった。私にとってそれは晴天の霹靂で、何度も無理だと訴えた。けれど先生は知らん顔。気が小さく、はつきり物が言えない私には重責だった。

大好きな部活から逃げることもできず、それから毎日悩む日々。人任せでやりたい事をやっていた時はあんなに楽しかったのに。チームをまとめるため、時に憎まれ役にもなる。私は先生を心底恨んだ。

そんな中で迎えたお正月。先生から年賀状が届いた。口数の少ない先生から「お前ならできる。お前だから任せた。私はお前を信じている」と達筆な文字でハガキいっぱいに書かれていた。定年間近の立派な大人から向けられた真っ直ぐな信頼に、私は体中から感動したのを今でも覚えている。

あの年賀状はその後の人生をずっと励まし続けてくれた。「私ならできる」と。

【プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社グリーティングワークス 担当者: 豊(ゆたか)・小松(こまつ)

大阪市北区万歳町 4-12 浪速ビル 5F

TEL: 06-6450-8029 / FAX: 06-6450-8129 / E-mail: press@greetingworks.com